

## IFOMPT(国際整形徒手理学療法士連盟) 2012 学会報告



2012年9月30日～10月5日までカナダのケベックにて4年に1度のIFOMPT学会が開催されました。当会からは佐藤友紀会長のポスター演題が2題採択され、共同演者である増井健二副会長、公森隆夫理事も同行し発表してまいりました。

多くの海外の理学療法士の方々から、好意的な質問を頂くことができました。是非論文にした方が良いというご意見や、臨床での疑問が解決できたなどのご意見を頂くことができました。我々が取り組んでいる研究が国際でも十分に認められるレベルであることを肌で感じる事ができ、とても充実した時間を過ごすことができました。

また St. Augustine 大学 MF1 インストラクターでもある Rob 先生はワークショップにて講演され、St. Augustine 大学の講習会が国際を牽引する内容であることを再認識致しました。

そして2つのミーティングにも参加致しましたが、IFOMPT 会長より IFOMPT 設立メンバーである Stanley Paris 先生が紹介されるなど、改めて Paris 先生の存在の偉大さを再認識致しました。

会議内容に関しては、JFOMPT（日本理学療法士協会 運動器理学療法専門部会 徒手療法部門）より正式に情報公開されるべきものであると思います。

当会 佐藤友紀会長、Stanley Paris 先生、Ken Olson IFOMPT 理事と日本の現状についても話し合う機会もありました。

次回4年後の学会は、2016年7月4日～8日 スコットランドのグラスゴーにて開催されます。その際には、当会メンバーから今回より多くの発表や参加がなされることを期待し、成長できるよう努力を継続したいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。



日本徒手療法学会 事務局

2012年10月8日